

障害年金の診断書（聴覚の障害）を作成する医師の皆さまへ

平成27年6月1日から  
国民年金・厚生年金保険の診断書  
「聴覚の障害用」（様式第120号の2）  
の様式が変わります

障害基礎年金・障害厚生年金の「聴覚の障害」についての認定基準の見直しに伴い、診断書の様式を変更します。

平成27年5月1日以降に変更後の様式を配布し、  
6月1日から新しい様式で認定事務を行います。

〔変更点〕

聴覚の障害で障害年金を受給していない人に両耳の「聴カレベル」が100デシベル以上の診断を行う場合、オーディオメータによる検査に加えて、聴性脳幹反応検査(ABR)などの結果を記入し、その記録データのコピーなどを添付していただきます。

★ 変更後の様式の診断書を作成する際は、  
『診断書作成の留意事項』をご参照ください。

※ 不明な点は、[日本年金機構の年金事務所](#)へお問い合わせください。